

無機分析化学実験 ガイダンス・安全教育



無機分析化学実験 全体の日程

- 第1回 10/01 ガイダンス、安全教育
- 第2回 10/08 【解説】 実験ノート、レポートの書き方
- 第3回 10/15 【解説】 ガラス体積計の使い方、滴定、錯体
- 第4回 10/22 【実験1】 キレート滴定による水の硬度測定
- 第5回 10/29 【実験2】 沈殿滴定による醤油の塩分濃度測定
- 第6回 11/12 【実験3】 錯体の組成比の決定(連続変化法)
- 第7回 11/19 【解説】 データ解析
【実験3】 錯体の組成比の決定(モル比法)
- 第8回 12/03 【解説】 酸・塩基、緩衝溶液
- 第9回 12/10 【実験4】 pH緩衝溶液の調製とpH測定
- 第10回 12/17 【実験4】 BTBの酸解離定数の決定
- 第11回 12/24 【実験5】 陰イオン交換樹脂による金属イオンの分離
- 第12回 01/07 【実験6】 沈殿成長と拡散の実験
- 第13回 01/21 【解説】 酸化・還元反応
- 第14回 01/28 【実験7】 化学電池の作製
- 第15回 02/04 【実験8】 電気分解実験

*グループ実験になります

*実験器具の数などの関係でグループの数を各実験で適宜調節します

*解説も化学第1実験室で行います

【重要】注意事項の確認

【単位・体調管理】

- 成績は**授業参加度・実験態度・レポート**により総合的に評価する。
実験への取組み(40%程度)・レポート(60%程度) 期末試験なし
- **5回以上の回数を遅刻あるいは欠席した場合は、無条件に成績評価の対象から除外する。欠席分はレポートを提出しても評価の対象にしない。**
- レポートには必ず**出典を明記**すること。また、**過去のレポートのコピー/ペーストは厳禁**とする。**レポートの剽窃は定期試験の不正行為と同等の取り扱いとする。**
- 体調不良(コロナ含)等の場合は担当教員に相談し、**無理をして出席しない**ように。対応は復帰後に指示する。

【レポート提出日】各実験が終了した翌々週の火曜日までに提出

実験1: 11/05, 実験2: 11/12, 実験3: 12/03, 実験4: 01/07, 実験5: 01/14,
実験6: 01/21, 実験7: 02/12, 実験8: 提出なし

×切を良く確認して提出すること

【重要】注意事項の確認

【実験】

- 実験の重要な操作や変更点等の説明は開始時刻から行うので、絶対に遅刻しないこと！

実験前後に予定を入れる場合は注意すること

- 実験の具体的な指示は実験室のホワイトボードに記載するので、実験室入室時に必ず確認すること。
- 保護眼鏡・白衣は必ず着用。眼鏡では不十分。着用しない者は入室不可。
- 甲を覆う靴を着用。サンダル不可

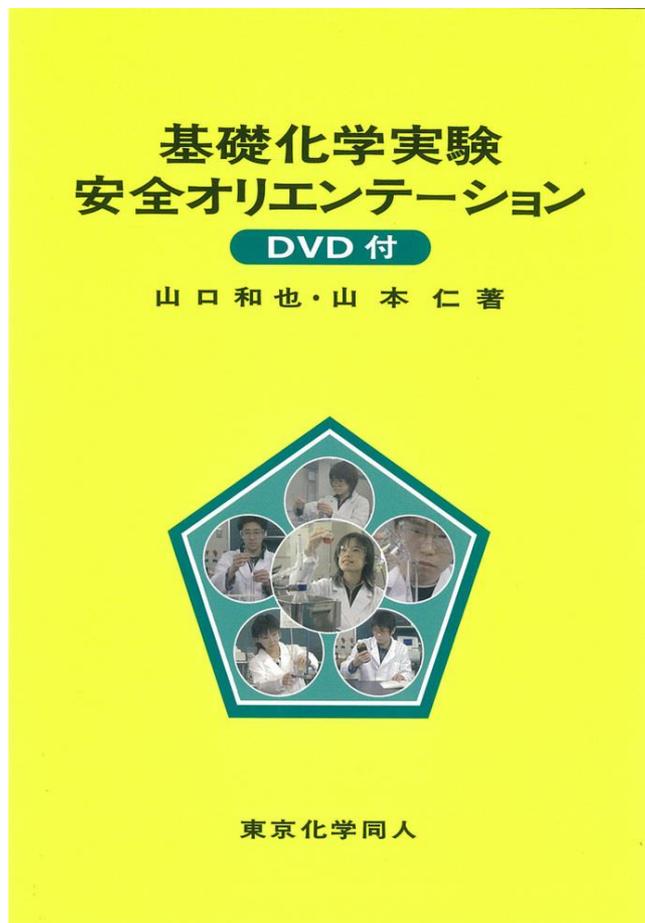
実験日持物（保護眼鏡、白衣、テキスト、実験ノートは必須）

【教科書・参考資料】

実験テキスト、分析化学及び無機化学の教科書、プリント

実験日までに**各自予習**すること！

実験の安全管理



基礎化学実験安全オリエンテーション (DVD付き)
東京化学同人

ISBN 9784807906666

出版年月日 2007/11/15

定価 2,090円

大阪大学大学院理学研究科

